

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
申請及び採択状況

	応募件数	採択	採択率
音楽	6	4	66.7%
舞踊	7	5	71.4%
演劇	14	12	85.7%
大衆芸能	5	3	60.0%
伝統芸能	11	8	72.7%
その他	12	6	50.0%
年鑑・調査研究	14	13	92.9%
合計	69	51	73.9%

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

*新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通し番号	分野	団体名	事業名	事業概要
1	音楽	公益財団法人新国立劇場運営財団	オペラを活用した総合的人材育成公演 新国立劇場オペラ研修所 ①試演会、②修了公演(いずれも演目未定)	【概要】3年間の総合的カリキュラムによるプロフェッショナルなオペラ歌手育成と併せて、プランナーおよび音楽・舞台・制作スタッフに若手を積極的に起用し実務を通じて育成する。 ①試演会 7月31日～8月1日(2回) ②修了公演 令和4年2月25日～2月27日(3回) 【対象者】オペラ研修所研修生および修了生、公演関係若手デザイナーおよびスタッフ
2	音楽	国立大学法人東京藝術大学	音楽大学卒業生のためのリカレント教育 プログラム「プロジェクトMusic Bridge」 音楽大学卒業生のための芸術と社会を架橋するコミュニティエンゲージメント研修	【概要】桐朋学園大学との連携事業。公共施設と連動し、地域文化の発展と地域社会の課題解決に寄与する音楽家を育成する。 ①音楽活動と社会を接続するスキルを養うワークショップ 8月～9月 ②実際の現場における実践、省察 11月頃 ③文化施設職員、アーティストによるフォーラム 令和4年2月 【対象者】音楽大学・芸術系学部の卒業生(概ね40歳以下)、文化施設職員・文化財団職員など芸術文化活動を支える人材
3	音楽	公益財団法人東京二期会	新進芸術家海外研修制度の成果 「明日を担う音楽家による特別演奏会」	【概要】新進声楽家海外研修制度の成果の発表と、新進芸術家の「プロフェッショナルの育成」機会として令和4年3月本格的なオーケストラ付の声楽コンサートを開催する。出演者の選定には、対象者の出身研修所からの推薦、ならびに当公演指揮者の推薦を統合して行う。 【対象者】文化庁新進芸術家海外研修制度研修修了者で前回公演(2020年3月5日予定、コロナ禍の影響により中止)で選ばれていた7名の歌手及び平成30年度～令和2年度の修了者
4	音楽	公益社団法人日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト ①リサイタルシリーズ(札幌・東京・名古屋・京都・大阪・大分) ②オーケストラ・シリーズ(札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡) ③公開マスタークラス	【概要】若手演奏家の育成を目的に、才能の発掘と演奏の場を提供する。 ①全国6都市におけるリサイタル・シリーズ 7月～令和4年2月(20回) ②全国6都市におけるオーケストラ・シリーズ 令和4年2月(6回) ③トップクラスの演奏家を招いた公開マスタークラス 10月25日/11月16日 【対象者】若手演奏家
5	舞踊	キャメルアーツ株式会社	舞踊ワークショップ&野外公演	【概要】日本独自の舞台芸術表現として世界に認知されている「舞踏」の歴史の講義や基礎レッスンを、指導実績のある講師陣が丁寧に指導をすると共に、野外公演に出演する体験までを実施することにより、舞踊及び舞踏のみならず幅広い芸術を目指す方々の人材育成を行う。 令和3年7月29日～8月8日(公演:8月7日) 【対象者】舞踏の基礎・手法の取得を志す者
6	舞踊	公益財団法人新国立劇場運営財団	①バレエ・アステラス2021、 ②エトワールへの道程2022	【概要】①海外を活躍の拠点とする日本人ダンサーを招聘し国内に広く紹介するとともに、国内で活動するダンサーと刺激し合い交流を深める機会とする。②プロフェッショナルなダンサーを目指す研修生の成果発表と研修所の実践的カリキュラムの紹介。 ①バレエ・アステラス 8月28日～8月29日(2回) ②エトワールへの道程 令和4年3月5日～3月6日(2回) 【対象者】帰国者含む在外ダンサー、バレエ研修所研修生・予科生および修了生
7	舞踊	特定非営利活動法人ダンスボックス	国内ダンス留学@神戸 第7期*	【概要】世界が求める日本発のコンテンポラリーダンスアーティスト、独自のビジョンで次代のダンスシーンを拓くアーティストを育成する8ヶ月間の集中プログラム。(令和3年7月26日～令和4年3月24日)。今年度は、「留学NEXT」(Dance Shares)(令和3年6月5日～令和4年3月24日)、「子どもダンス留学」(令和3年8月23日～27日)も実施。 【対象者】コンテンポラリーダンスの振付家、ダンサーとして活動していく意志のある者。より高い技術や深い知識を得たい既に活動を始めているダンスアーティスト。
8	舞踊	公益社団法人日本バレエ協会	新進バレエ芸術家育成支援事業	1. 我が国全土でバレエ芸術家を志す青少年への機会均等とモチベーション持続向上の契機とする「全国合同バレエの夕べ」 2. グローバル・スタンダードを定規として多角的に若手ダンサーのその時点での基礎技能・芸術性を計る「全日本バレエ・コンクール」 3. 国際的評価に耐え得る我が国コリオグラファー発掘育成を目的とする「Balletクレアシオン」 の3公演の組み合わせで、その「個性」に最適な育成プログラムを実施。
9	舞踊	一般社団法人日本バレエ団連盟	新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査	【概要】世界的な優秀指導者による新進バレエダンサーの育成及びバレエ団マネジメントスタッフの人材育成、次世代の観客育成に向けた調査を行う。 ①マスタークラスおよび公開レッスン(招聘指導者3名) ②マネジメント研修・ダンサー研修:運営スタッフ向け「海外バレエ団のコロナ対応状況レポート」の発行(5～3月)および、セミナー実施(年2回) ③次世代の観客育成に向けた調査(5～3月) 【対象者】日本バレエ団連盟会員団体のバレエダンサー、運営スタッフ等
10	演劇	特定非営利活動法人愛知人形劇センター	P新人賞2021	【概要】人形劇分野の新たな人材の発掘と人形劇創造を目指す若手芸術家の育成を目的としたコンクールを開催。 一般公募 7～9月中旬 第一次選考会 10月 上演団体実技指導 12月～令和4年2月上旬 音響家・照明家技術講習会・最終選考上演会 令和4年2月18日～20日 【対象者】人形劇・オブジェ・身体表現分野のアーティスト(年齢、経験、国籍、アマ・プロを問わず)
11	演劇	一般社団法人江原河畔劇場	世界をめざす劇場芸術家養成事業-第22回 演劇人コンクール	【概要】劇場文化と舞台芸術を担う時代の才能を発掘・支援し、作品創造に携わる演出家のみならず、作品を創造する集団や俳優、スタッフなどすべての能力向上を図り、芸術としての舞台芸術の発展に寄与することを目的とするコンクールを実施する。 上演審査時期:10月21日～22日 【対象者】舞台創造分野での舞台芸術家(6グループ最大60名)

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

*新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通し番号	分野	団体名	事業名	事業概要
12	演劇	公益社団法人国際演劇協会日本センター	「次代の翻訳者育成セミナー」 （「ワールド・シアター・ラボ」）	【概要】海外の戯曲や若い世代によって作られた現代的な戯曲を新進の翻訳者が翻訳し、リーディング上演を行う。あわせてワークショップやレクチャーを実施する。 ①ワークショップ、公開稽古、レクチャー 令和3年9月6日～9月12日、12月15日～25日 ②リーディング上演、シンポジウム 令和4年2月14日～20日 【対象者】翻訳家、演出家、俳優
13	演劇	公益財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場演劇研究所公演 ①第15期生試演会、②第15期生修了公演 （いずれも演目未定）	【概要】研修生の研修所での研鑽の集大成として、国内および海外の戯曲での有料公演を開催し、この出演経験を経てプロフェッショナルな俳優としての自覚を喚起し、さらなる自己研鑽を促す。 ①試演会 10月19日～10月24日（6回） ②修了公演 令和4年2月1日～2月6日（6回） 【対象者】演劇研究所研修生および修了生
14	演劇	一般社団法人全国専門人形劇団協議会	専門人形劇演技者育成講座2022 「フィリップ・ジャンティ・カンパニーによるワークショップ」	【概要】人形劇の発展をけん引している講師による講座を開催することで、次代の人形劇分野を形成する優秀な人材を育成する。東京・愛知・大阪で開催。 東京講座 令和4年2月14日～16日 愛知講座 令和4年2月19日～21日 大阪講座 令和4年2月25日～27日 【対象者】経験5年～20年の現役専門人形劇演技者
15	演劇	学校法人多摩美術大学	新進演劇人育成事業・演劇系大学と演劇界を繋いだ新進演劇人による柴幸男作品企画 上映・関連ワークショップ、シンポジウム	【概要】大学発信の企画上演により、双方の豊かな関係性の構築を目指し、大学における演劇教育と演劇界の現場との繋がりの深化と一層の促進による創造性豊かな新進芸術家の育成を目的とする。 上演企画 9月10日～12日 @東京芸術劇場 シアターイースト レクチャー・ワークショップ 5月～7月 シンポジウム9月下旬 【育成対象者】36歳以下の演劇人及び東京演劇大学連盟加盟大学の在校生（学部・大学院）
16	演劇	社会福祉法人トット基金日本ろう者劇団	次代を担うろう者の新進芸術家育成事業2021	【概要】手話狂言の次代を担う演者の発掘と育成を行う。演劇の制作等について手話通訳・UDトーク付きでろう者に学びの場を提供する。 ①ろう学校訪問ワークショップ 6月～令和4年3月 ②手話狂言ワークショップ 令和4年1月～3月 ③手話狂言発表会 令和4年3月 ④ろう児能狂言ワークショップ 8月29日 ⑤演劇スタッフワーク基礎講座 7月～令和4年3月 【対象者】ろう者、難聴者で手話のできる児童及び成人、演劇活動に携わっている人、関心がある人
17	演劇	一般社団法人日本演出者協会	【次代の若手演出家育成事業】 ①演出家・俳優養成セミナー2021 演劇大学 ②国際演劇交流セミナー2021 ③日本の戯曲研修セミナー2021 ④若手演出家コンクール2021	【概要】日本各地にて演劇文化を深め広げるため、セミナー等を開催する。 ①演劇大学（沖縄7月～9月、徳島9月～11月、大阪11月） ②国際演劇交流セミナー（エストニア10月、韓国11月、香港12月（京都/東京）） ③日本の戯曲研修セミナー（東京①8月～9月、大阪9月、名古屋1月、東京②1月） ④若手演出家コンクール（3月）、コンクール記念公演3月 【対象者】若手演出家、俳優
18	演劇	一般社団法人日本劇作家協会	次代を担う劇作家を育成するためのプロジェクト	【概要】次代を担う新進の劇作家を育成するために、講座とドラマリーディングを連動させた総合的で実践的な事業を実施。全国、東京、大阪、九州、東北にて定期的なドラマリーディングのワークショップ、東京、大阪にてドラマリーディング発表会・研究会の開催ほか、個別指導の「研修課」、公開講座、「セリフの読み方」ワークショップを実施。 通年 【対象者】新進劇作家
19	演劇	公益社団法人日本劇団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト	【概要】芸術団体単独では企画の実現が難しい公演やワークショップを実施することにより、新進気鋭の演劇人にスキルアップの機会を提供し、演劇界を担う人材を育成する。『「日本の劇」戯曲賞 10月』『新進演劇人育成公演 12月、令和4年1月、2月』『新進演劇人育成講座 6月～令和4年2月』『演劇人交流育成公演 通年』 【対象者】劇作家、演出家、俳優、演劇教育関係者、ワークショップ指導者等
20	演劇	公益社団法人日本児童青少年演劇協会	児童青少年演劇「新進芸術家育成公演」	【概要】ホールでの公演の機会を提供、また意欲的な新作を公演することで、新進俳優、演出家の育成を図る。（児童青少年演劇団体の中から2劇団を選定。） ①東京ミュージカル・アンサンブル『さんしょう太夫』 令和4年1月5日～6日 ②人形劇団ポポロ『14ひきのおつきみ』 令和4年2月5日～6日 【対象者】東京ミュージカル・アンサンブル新進俳優2名、人形劇団ポポロ新進俳優2名・演出家1名
21	演劇	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	次代の児童・青少年演劇人育成 連続講座	【概要】次代の児童・青少年演劇実践者を育成するための講座を全国各地で全15プログラム実施する。・YA創作ワークショップ、脳科学から学ぶ子どものための舞台芸術・ベビシアターの普及『KUUKI』の上演・ゲキミテトーク・旅する学校in関西「コミュニケーション教育の現場に行くために」、俳優のための日本語論Ⅱ、など。 【対象者】児童・青少年演劇に関わる演劇人又は興味のある人、子どものためのアーティストなど。
22	大衆芸能	公益社団法人上方落語協会	上方若手落語家育成公演	【概要】上方落語の魅力、ひいては大衆芸能のすばらしさを伝承・普及していける若手落語家を当事業によって育成・鍛錬する。 6月12日から翌年3月26日にかけて、神戸新開地・喜楽館20公演、岡山・倉敷芸文館2公演、福井・小浜旭座2公演、兵庫・姫路七福座1公演、京都・長岡京市中央生涯学習センター3公演の計28公演を開催。 【対象者】上方落語協会所属の入門11～28年目の落語家約80人から選抜する。

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

*新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通し番号	分野	団体名	事業名	事業概要
23	大衆芸能	公益社団法人日本奇術協会	奇術の登竜門	<p>【概要】公益法人として社会貢献も含めて広く文化事業として奇術の世界の芸術性を高め新進芸術家を育成する事、その指導者の水準を上げる事、その観客の中から次世代の芸術家を目指す機会になるような舞台を作り上げてゆくことを目的とする。</p> <p>具体的には日本古来の伝承芸術でもある和妻（日本のマジック）、マニユビレーション（指先を使つての技術的マジック）、イリュージョン（舞台道具として大きなものを用いて幻想的な現象を表現する）、メンタル現象（心理的な要素を用いた不思議さを表す）おしゃべりマジック（不思議でありながらしゃべりの面白さ楽しさを表現する話術）など奇術の世界を高水準にして若い人の育成を図る。</p> <p>【対象者】 7/11大阪公演：永山愛華・9/5須賀川公演：前部屋京子・9/11川崎公演：渡邊奈月 9/26石川町公演：前部屋京子・11/14山梨公演：上口信一</p>
24	大衆芸能	公益社団法人落語芸術協会	若手落語家育成公演	<p>【概要】大衆芸能の素晴らしさを未来永劫伝えていける、魅力的かつ創造性豊かな人材を育成する。</p> <p>お江戸日本橋亭51公演、東村山土曜寄席5公演、羽村ゆとろぎ小ホール4公演、児童対象公演（横浜にぎわい座7公演、浅草演芸ホール7公演）、青森県弘前1公演、九州地区～広島県福山地区（九州5公演、福山1公演、計6公演）、広島県福山市、尾道市各1公演、東西交流落語会1公演</p> <p>【対象者】若手落語家</p>
25	伝統芸能	公益財団法人江戸系あやつり人形結城座	人形と俳優のクロスオーバーⅡ	<p>【概要】江戸系あやつり人形の将来を担う、創造性豊かな活動を支える人材の育成を目的とする。2年目を迎える令和3年度は、一流の外部講師たちによる講義も引き続き行い、様々な舞台芸術における身体の方を学び、人形、能、ダンスをクロスオーバーさせた一つの作品となる試演会を目指す。試演会 令和4年1月</p> <p>【対象者】「古典の人形演劇」及び江戸系あやつり人形演劇に興味を持ち、プロを目指す人材</p>
26	伝統芸能	公益財団法人現代人形劇センター	人形浄瑠璃乙女文楽・各座合同研修講座	<p>【概要】人形浄瑠璃乙女文楽の伝承者は関東と関西に存在し操法にも差異がある。この東西の伝承者が会する研修講座を行い、乙女文楽演者全体の見識、技芸のレベルアップを図り、各座の活動強化につなげる。同時にジャンルとしての基盤強化と発信力の向上をめざす。9月と12月に各2回、合計4回の講座を開催。また、将来は、合同での創造活動をめざす。</p> <p>【対象者】乙女文楽を伝承する東西の座の演技者。</p>
27	伝統芸能	当道音楽保存会	平家（平家琵琶）演奏家育成のための研修と廃絶曲の復元、および成果発表演奏会	<p>【概要】若い有能な音楽家（箏曲家、地歌演奏家等）に、平家琵琶の演奏能力を習得させ、平家の魅力を表現できる演奏家を育成することを目的とし、研修、廃絶曲の復元、成果発表演奏会を実施する。</p> <p>①研修 通年 ②廃絶曲の復元 通年 ③成果発表演奏会 7月～9月</p> <p>【対象者】若手演奏家</p>
28	伝統芸能	特定非営利活動法人日本音楽集団	日本音楽集団 夏期講習会'2021'	<p>【概要】全国で活動する邦楽演奏者・演奏家を目指す若手、また教育者に向け、邦楽アンサンブルを習得する機会を提供することで、より技術の高い演奏者、指導者を育成する。</p> <p>講習会 8月24日～25日 東京</p> <p>【対象者】全国の邦楽演奏者（プロ、アマ、経験年数不問）各日35名程度</p>
29	伝統芸能	公益社団法人日本三曲協会	三曲新進演奏家研修支援事業	<p>【概要】三曲、即ち歌唱を伴う箏・三絃と尺八による伝統音楽の継承・発展を目的とし、将来を担う若手演奏家が流派や社中の枠を超えて自主的に研修する機会の提供を支援する。また、研修の成果を発表する機会を提供する。</p> <p>①研修 通年 ②成果発表会 12月 東京</p> <p>【対象者】箏・三絃・尺八の演奏家</p>
30	伝統芸能	公益社団法人日本舞踊協会	令和4年各流派合同新春舞踊大会	<p>【概要】新進の日本舞踊家を対象に、コンクール形式の舞踊大会を開催する。日頃の研鑽の成果を流派を超えて競い合い、発表する機会を設けることで、日本舞踊界全体の活性化につながる役割を果たしている。</p> <p>公演日程 令和4年1月9日 国立劇場小劇場（東京）</p> <p>【対象者】50歳以下で、名取の資格を有する協会所属の日本舞踊家30名程度。</p>
31	伝統芸能	公益財団法人日本民謡協会	少年少女・青年層に対する民謡民舞育成事業	<p>【概要】民謡民舞の演奏家を育成するため、演奏発表の機会等を提供する。</p> <p>①少年少女全国大会 7月3・4日 対象：幼児から中学生・模範演奏者 ※新型コロナウイルス感染対策にて4日のみ開催。 ②少年少女講習会 通年（月1回） 対象：幼児から中学生 ③青年講習会 通年（月1回） 対象：高校生から30歳程度 ④少年少女地区大会育成指導 通年 対象：幼児から中学生 ⑤民謡SONIC 令和4年2月～3月 対象高校生以上</p> <p>【対象者】上記年齢層の唄い手、踊り手、演奏家</p>
32	伝統芸能	公益社団法人能楽協会	若鯨研究発表会「若鯨能」	<p>【概要】次世代を担う若手能楽師の技芸向上及びプロの舞台に出演できる能楽師を多く誕生させることを目的とし、ベテラン能楽師を講師とした合同稽古及び発表の場の機会を提供する。</p> <p>①合同稽古 12月～1月 ②公演 1月</p> <p>【対象者】能楽協会名古屋支部所属を中心とした若手能楽師及び会員の子弟</p>

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

*新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通し番号	分野	団体名	事業名	事業概要
33	その他	特定非営利活動法人映画美術学校	映画・演劇を横断し活躍する俳優養成講座2021～演技を通じた新しいクリエイター創出を目的とする～	【概要】「映画と演劇」の表現の違いを俳優たちに意識させながら、双方の表現における演技の違いを体系的に理解させ、映画と演劇を往還できる新時代の俳優の育成を目的として、①「カメラに写し取られた」演技の考察と実践のワークショップ、②第一線の映画監督と舞台演出家による演技の指導、様々な演出家の元で経験を積み海外でも活躍する俳優による演技の指導等を連携して実施。①5～9月(講義8～12回程度)②9月～令和4年3月(講義80回程度) 【対象者】①過去の本事業修了生②18歳以上(職業・経験年数不問)
34	その他	一般社団法人コミュニティシネマセンター	映像アートマネージャー育成のためのワークショップシリーズ2021	【概要】映画映像を軸に、地域の文化事業を担う人材を育成することを目的に、①シンポジウム「全国コミュニティシネマ会議」や、②上映者のための講座・ワークショップ、③ミニシアターや上映団体同士の連携事業、④Fシネマプロジェクトの4プログラムを実施。 【対象者】地域の映画映像事業に携わる人材、若手スタッフ等
35	その他	協同組合日本映画・テレビ美術監督協会	明日を拓く映画美術スタッフ育成プロジェクト2021「映画美術スタッフ塾」	【概要】「映画美術スタッフ塾」では、映画美術の初歩から映画美術創造過程で基礎となる、人間生活の様々な場面の表現を学習し体験する「塾」となっている。オリジナル短編脚本の製作、監督を始めプロの映像技術者と共に映画撮影現場を体験、編集作品の鑑賞と総評を行う。 日本映画の優れた作品の美術資料のデータ化は、美術助手を始め映像各分野の担い手に資料学習機会の提供を目指している。一方、現在ではあまり鑑賞機会がない旧作を鑑賞、美術監督による資料を活用した講座も開催。 【対象者】映像関係を学ぶ大学生、専門学校生、高校生、社会人(経験年数不問)
36	その他	公益社団法人日本照明家協会	舞台・テレビジョンのための新進照明家育成公開講座(中央講座)	【概要】「創造と技術」をテーマに「深い知識・教養」と「高い技術」を追求する人材育成を目的とし、高度な技術を持つ上級者のための「中央講座」を実施する。11月頃から受講者募集開始。東京・名古屋・大阪・福岡の4か所を予定。各会場で連続3日間、1日4～5コマ、1コマ90分、計12コマ。 【対象者】照明技術者技能検定2級を取得後3年以上または照明実務経験5年以上の照明家で優れた者(各会場10～20人程度を公募)
37	その他	学校法人日本大学	大学連携による映画人育成のための上映会 S.T.E.P.	【概要】映画教育を行っている14大学が会した全国映画教育協議会が中心となり、映画関連団体などと連携して若手映画人の作品を一般映画館で公開する。プロの講師による講評会、観客によるアンケート等による作品の評価を通じて若手映画人のステップアップを促すとともに、優れた若手映画人を世に送り出すことに寄与する。 【対象者】全国映画教育協議会参加校を中心とする学生及び卒業生、映画祭などの受賞作品の制作関係者で経験年数10年以内の者
38	その他	公益社団法人日本舞台音響家協会	舞台音響家のための公開講座	【概要】舞台音響技術の普及・向上を目的として、下記の4講座を開催 ・〈基礎コース〉舞台における基本的な知識を指導する 4月1日間(1回) ・〈演劇コース〉演劇音響の専門家を育成する 10月・11月2日間(2会場で各1回) ・〈技術コース〉舞台音響家の技術力の、より向上を目指す 1月3日間(3回) ・〈研究コース〉1つのテーマを掘りさげ、研究する 1月1日間(1回) 【対象者】舞台音響家、舞台音響家を目指す学生、および一般
39	年鑑・調査研究	一般社団法人アート東京	日本のアート産業市場規模の推計に係る調査2021	【概要】アート関連事業に関わる者が役立てることができる基礎情報となることを目指し、日本のアート産業市場に焦点を当て、関連データを整備し、調査結果をレポートと併せ分かりやすく可視化し、国内外に広く発信する。主にインターネットアンケートにより、日本のアート市場規模の数値を推計する。 【作製:オンライン】
40	年鑑・調査研究	公益社団法人企業メセナ協議会	民間のメセナ活動および国内外の芸術文化振興に関わる調査研究	【概要】日本の企業メセナの実態を継続的に調査し、現代の社会創造に貢献する企業メセナを把握し『Mecenate Report 2021』にまとめ、国内外へ発信する。また、「メセナアソシエイト」、「協議会アソシエイト」、「メセナライター」事業において、外部の若手研究者やアートマネージャー、民間企業人等を募り、芸術文化の専門的知識のみならず、企業からの視点を併せ持つ人材を育成するとともに、事例研究およびレポートは協議会ウェブサイトで開催する。 【作製:『Mecenate Report 2021』:1600部、『メセナを知る本』:2000部】
41	年鑑・調査研究	一般社団法人現代舞踊協会	「舞踊公演アーカイブ事業《舞踊年鑑2021と舞踊公演データベース》	【概要】舞踊家のみならず研究者やマスコミ等の利用に供することを目的に、年間における我が国の舞踊分野の舞台活動について可能な限り正確な公演情報を収集・調査・整理し、データベース化してWEB上で公開するとともに、「舞踊年鑑2019」を発行する。 【作製:1000部】
42	年鑑・調査研究	公益社団法人国際演劇協会日本センター	『国際演劇年鑑』(日本編・海外編)の編集と発行	【概要】日本と海外との演劇交流を促進するための知識基盤を形成するとともに、現場の演劇交流の多様なチャンネルを確保し拡大するために、「日本編」と「海外編」二冊で「国際演劇年鑑」を発行する。「日本編」では日本の演劇状況をジャンルごと(10ジャンル)に英語で紹介、「海外編」では海外各国・地域(20か国/地域前後)の読者に対して紹介する。WEBでもカラーPDFを公開。また海外戯曲を紹介する特集企画「紛争地域から生まれた演劇」等のテーマに沿った戯曲集を別冊で発行する。 【作製:日本編1,000部、海外編1050部、戯曲集600部】
43	年鑑・調査研究	特定非営利活動法人国際人形劇連盟日本センター	「21 日本の人形劇」の発行	【概要】全国の人形劇団、伝統人形劇伝承団体、人形劇関連団体約200団体からの情報をもとに、日本全国の伝統人形劇、現代人形劇の1年間の活動状況を詳細に記録し、「21 日本の人形劇」を発行し、WEB上でも公開する。また人形劇創造を目指す若手芸術家の育成に資することを目的に、ウニマ(国際人形劇連盟)の協力により、主にヨーロッパを中心とした国々の人形劇事情を提供する。 【作製:600部】

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

*新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通し番号	分野	団体名	事業名	事業概要
44	年鑑・調査研究	一般社団法人コミュニティシネマセンター	「映画上映活動年鑑2021」の作成	【概要】「興行」に関する既存のデータや情報を活用しながら、映画祭や公共上映に関する独自の調査データと合わせて、幅広い視点から現在の映画の[上映]を提示・分析し、「映画上映活動年鑑2021」を作成する。WEB上でも主要部分を公開する。 【作製：350部】
45	年鑑・調査研究	学校法人東成学園（昭和音楽大学）	『日本のオペラ年鑑2020』編纂・刊行事業	【概要】日本のオペラ界の状況を総合的に把握することを目的に、2020年に行われた我が国のオペラ公演に関する定量的な分析、主要な公演を概観する記事とともに、時事的な問題に関する特集記事を掲載した『日本のオペラ年鑑2020』を編纂・刊行する。2020年はコロナ禍により、オペラ公演の全国的な中止、延期や変更、海外オペラ劇場の来日中止など、例年と大きく状況が異なることから、それらを概観できる内容とする。また、公演情報を中心にWEB上で公開する。 【作製：1500部】
46	年鑑・調査研究	学校法人東成学園（昭和音楽大学）	日本のバレエ教育に関する全国調査	【概要】国内のバレエ環境把握とバレエに関する基礎データ整備を目的とし、日本全国のバレエ教室数、バレエ学習者数、バレエ教師数等について調査を行う。基礎データは学術研究だけでなくバレエ公演の制作現場や政策立案等においても有用である。また本調査は5年ごとに行っているため、過去の調査結果と比較することで、バレエ環境の変化についても把握することができる。報告書とリーフレットを作成し配布するほか、WEBでも積極的に調査結果を公開する。 【作製：1500部】
47	年鑑・調査研究	公益社団法人日本演劇協会	「演劇年鑑」の作成	【概要】日本の演劇界の情報基盤を築き、演劇文化の振興及び次世代につながる演劇人育成に資することを目的に、年間に上演される各地の演劇作品の公演情報を通年収集し、整理、記録し、それらを刊行物として関係各方面に配布するとともに、WEB上でも公開する。 【作製：530部】
48	年鑑・調査研究	公益社団法人日本演奏連盟	演奏年鑑2022-音楽資料(通巻第48号)	【概要】日本のクラシック音楽界の動向を研究するとともに最新の音楽資料の収集、後世に残る貴重な資料に資するため、全国各地の音楽ホールで開催されているクラシックの演奏会を調査、記録し、数値データに表すほか、コンクールや講習会、奨学金制度、音楽関係者名簿等の情報も掲載する。WEBでの公開も積極的に進める。 【作製：1500部】
49	年鑑・調査研究	公益社団法人日本オーケストラ連盟	日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑2021	【概要】文化芸術活動に携わる関係者が現在の日本のオーケストラの活動状況を知り、今後の日本の文化芸術活動の方向性を探る際に役立つことを目的としている。内容は各年度ごとの各オーケストラの活動状況、運営の状態などを多角的に記載、加えて海外から来日するオーケストラの情報もまとめている。また年鑑の情報を日本オーケストラ連盟ホームページ上で公開する。 【作製：3000部】
50	年鑑・調査研究	一般社団法人日本劇作家協会	現代日本の劇作(英語)	概要)日本の現代戯曲を英語に翻訳して海外に紹介(国内外の劇場や演劇関係者などに配布)し、海外での日本現代劇の上演といった、演劇の国際交流のより深い可能性を生み出し、ひいては日本の現代の芸術文化の生き生きとした動きを海外に伝えることに寄与する。(翻訳作品は3作品を選定) 【作製：300部】
51	年鑑・調査研究	協同組合日本シナリオ作家協会	20年鑑代表シナリオ集(2021年発行)	【概要】シナリオ作家、映画監督、プロデューサー、撮影監督、美術監督、録音、編集、照明、スクリーンライター、俳優など映画製作に携わろうとするすべての新進映画人を育成することを目的に、前年を代表する優れた邦画のシナリオを10篇程度収録する「年鑑代表シナリオ集」を出版する。 【作製：200部】

令和3年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 協力者会議委員一覧

音楽分野	舞踊分野	演劇分野	大衆芸能分野・ 伝統芸能分野
加納 マリ	岡見 さえ	井上 桂	飯島 満
小鍛冶 邦隆	小野 晋司	田窪 桜子	鈴木 英一
長木 誠司	菊丸 喜美子	中山 夏織	長井 好弘
中村 孝義	長野 由紀	林 尚之	畑 律江
中村 真理	村山 久美子	渡辺 弘	前田 憲司
その他分野	年鑑・調査研究分野		
五十嵐 卓	楫屋 一之		
杉浦 幸子	加納 民夫		
富田 美香	齊藤 裕嗣		
久野 敦子	法月 敏彦		
間瀬 勝一	真住 貴子		

(五十音順・敬称略)